

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 再度、子どもの権利を保障するために担保されるべき保育について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市では保育園の新設がすすみ、定員ベースでは2016年度は前年比246人、2017年度は前年比437人増加しました。2018年度は19人定員の小規模保育園1園が開設される予定になっています。子どもが健やかに育つ権利を保障するためには、希望すれば保育サービスが受けられるよう待機児童をゼロにすることはもちろん、保育の質を担保することが重要です。

2017年12月定例会の私の一般質問で市立保育園の保育課程における保育理念は「子ども一人一人を大切に、保護者、地域にも最善をつくして、安心できる保育園をめざす」、保育目標については「子どもがいまをもっとも良く生き、遊びや生活を通して充実感を味わい生きる力の基礎を培う」及び「子どもと保護者の意向を受けとめ、安定した関係に配慮し、保育士などの専門性を生かして援助に当たる」と定めているとの答弁でした。

前回の質問では時間が充分にはなく、お尋ねできていないところとさらに伺いたいところがありますので、今回再び、小平の子どもたち一人一人が大切にされ、いまをもっとも良く生き、地域の中でのびのびと健やかに成長するために、以下質問します。

- 1、2018年度の保育園入園希望者の申し込みの状況について、例年と比較しての特徴をお示してください。
- 2、2017年4月は就学前人口に対する保育利用率は38.7%でした。この数字に対する見解は。
- 3、就学前の子どもたちの育ちに関する市としての理念、目標はどこに示されていますか。
- 4、市立保育園の保育課程における保育理念・保育目標は、どんなところに示してありますか。
- 5、市立保育園保育目標の中に掲げている、子どもがもっとも良く生きるために市として行っていることはなんですか。また、子どもの意向を把握するためにどのようなことを行っていますか。
- 6、市立、私立保育園の情報交換の場ではどのようなことが話し合われますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成30年2月14日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)